

別紙(資料5)

(省庁名:文部科学省)

対策の柱立て	<p>・施策の名称 (平成21年度第2次補正予算額)</p> <p>・22年度予算における関連事業 (平成22年度予算額)</p> <p>・「新成長戦略」における関連事業</p>	事業の内容	<p>・直近(平成22年7月20日時点)の進捗状況(申請件数、交付決定件数、相談件数等)</p> <p>・行政事業レビューシートの公表場所URL</p> <p>・予算執行状況(※前回会合の際、3月末日時点で執行未了とした施策のみご記入下さい。)</p>	<p>・4月に各省庁において設定した評価指標の効果発現状況</p>	担当局
1. 雇用	<p>「大学教育・学生支援推進事業」 (就職支援推進プログラム) (平成21年度第2次補正予算額:1億円)</p> <p>【22年度本予算】 「大学教育・学生支援推進事業」 (就職支援推進プログラム) (予算額46億円の内数) 「5か年プラン」</p> <p>【新成長戦略関連事業】 「大学の就業力向上プラン」</p>	<p>大変厳しい大学等卒業予定者の就職内定状況に対応するため、大学等への就職相談員(キャリアカウンセラー等)を配置するなど大学等の就職相談体制の強化を図るとともに、学生の卒業後の社会的・職業的自立につながる教育課程内外にわたる大学等の取組(キャリアガイダンス)の推進に対する支援を実施。</p>	<p>(進捗状況) 各大学等において事業実施中(選定件数:65件)</p> <p>(行政事業レビューシート公表場所URL) 「大学教育・学生支援推進事業」(予算事業名) <a href="http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afiedfile/2010/07/08/1295333_9.pdf">http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afiedfile/2010/07/08/1295333_9.pdf</a></p>	<p>(評価指標) 就職(内定)率</p> <p>(当該指標の設定についての考え方) 本施策は、大学等卒業予定者の就職(内定)状況の好転を図ることを目的としたものであるため。</p> <p>(効果発現状況) ・22年2月80.0%(前年同期比▲6.3ポイント) →22年4月91.8%(前年同期比▲3.9ポイント) ・大学等卒業予定者の就職(内定)状況の改善が図られた。 (文部科学省・厚生労働省調べ)</p>	高等教育局
1. 雇用	<p>経済団体、業界団体への求人拡大の要請(一)</p>	<p>文部科学省・厚生労働省・経済産業省の連名にて、業界団体等に対し、新規学校卒業者の採用に努めていただくとともに加盟企業に周知徹底を図るよう要請する文書を発出。</p>	<p>(進捗状況) 文部科学省・厚生労働省・経済産業省の連名にて、中小企業団体に対し、新規学校卒業者の採用等に関して、直接要請を実施。</p>	<p>(評価指標) 就職(内定)率</p> <p>(当該指標の設定についての考え方) 本施策は、大学や高校等の卒業予定者の就職(内定)状況の好転を図ることを目的としたものであるため。</p> <p>(効果発現状況) 大学等卒業予定者(文部科学省・厚生労働省調べ) ・22年2月80.0%(前年同期比▲6.3ポイント) →22年4月91.8%(前年同期比▲3.9ポイント) 高等学校卒業予定者(文部科学省調べ) ・21年12月末76.3%(前年同期比▲7.5ポイント) →22年3月末91.6%(前年同期比▲1.6ポイント) 大学や高校等の卒業予定者の就職(内定)状況の改善が図られた。</p>	官政まとめ(生、初、高)

対策の柱立て	<p>・施策の名称 (平成21年度第2次補正予算額)</p> <p>・22年度予算における関連事業 (平成22年度予算額)</p> <p>・「新成長戦略」における関連事業</p>	事業の内容	<p>・直近(平成22年7月20日時点)の進捗状況(申請件数、交付決定件数、相談件数等)</p> <p>・行政事業レビューシートの公表場所URL</p> <p>・予算執行状況(※前回会合の際、3月末日時点で執行未了とした施策のみご記入下さい。)</p>	<p>・4月に各省庁において設定した評価指標の効果発現状況</p>	担当局
2. 環境	<p>環境分野の技術開発力強化に資する最先端放射光設備の整備 (平成21年度第2次補正予算額: 22億円)</p> <p>【22年度本予算関連事業】 X線自由電子レーザー(XFEL)施設の共用に向けた整備 (予算額43億円)</p> <p>【新成長戦略関連事業】 「トップレベル頭脳循環システム(仮称)」の構築 ・国際研究開発拠点、最先端共同研究施設・設備、研究支援体制の整備</p>	<p>燃料電池や太陽光発電など環境技術開発を加速するXFEL研究設備(ビームライン)等の整備</p>	<p>(進捗状況) 理化学研究所において、一部契約手続きを完了し整備に着手。</p> <p>(行政事業レビューシート公表場所URL) 「X線自由電子レーザーの開発・共用」 <a href="http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/fieldfile/2010/07/13/1295353_19.pdf">http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/fieldfile/2010/07/13/1295353_19.pdf</a></p>	<p>(評価指標) 【整備完了前】 ・整備の進捗状況 【整備完了後】 ・整備した設備の活用状況(利用者数等)※</p> <p>(当該指標の設定についての考え方) 「明日の安心と成長のための緊急経済対策」(平成21年12月8日閣議決定)における具体的な対策「地球温暖化対策に資する先端研究設備の整備等を行う(後略)」(P13)に基づき、整備の進捗状況を指標に設定。</p> <p>※整備後においては、世界最先端の研究インフラとして、多くの研究者等にX線自由電子レーザーを提供することにより我が国の環境技術の発展に貢献することが期待されていることから、その指標として「設備の活用状況」が考えられる。</p> <p>(効果発現状況) ・6月に設計作業が終了し、今後、7月以降に順次整備の契約締結を行う計画であり、燃料電池や太陽光発電など環境技術開発を加速するXFEL研究設備(ビームライン)等の整備が、平成22年度中の整備完了に向け着実に進捗している。</p>	研究振興局
2. 環境	<p>環境負荷低減に資する材料開発のための中性子利用研究設備の整備 (平成21年度第2次補正予算額: 20億円)</p> <p>【平成22年度本予算関連事業】 大強度陽子加速器施設(J-PARC)の整備・共用(予算額141億円)</p> <p>【新成長戦略関連事業】 「トップレベル頭脳循環システム(仮称)」の構築 ・国際研究開発拠点、最先端共同研究施設・設備、研究支援体制の整備</p>	<p>リチウムイオン電池の開発等に資するJ-PARC研究設備(ビームライン)の整備</p>	<p>(進捗状況) 日本原子力研究開発機構において、3月までに契約手続きを全て完了し整備に着手。装置の一部に関して整備完了。</p> <p>(行政事業レビューシート公表場所URL) 「中性子利用実験装置の整備」 <a href="http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/fieldfile/2010/07/13/1295354_4.pdf">http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/fieldfile/2010/07/13/1295354_4.pdf</a></p>	<p>(評価指標) 【整備完了前】 ・整備の進捗状況 【整備完了後】 ・整備した設備の活用状況(利用者数等)※</p> <p>(当該指標の設定についての考え方) 「明日の安心と成長のための緊急経済対策」(平成21年12月8日閣議決定)における具体的な対策「地球温暖化対策に資する先端研究設備の整備等を行う(後略)」(P13)に基づき、整備の進捗状況を指標に設定。</p> <p>※整備後においては、世界最先端の研究インフラとして、多くの研究者等に中性子線を提供することにより、我が国の環境技術の発展に貢献することが期待されていることから、その指標として「設備の活用状況」が考えられる。</p> <p>(効果発現状況) ・平成21年度第2号補正予算で計画された整備についてすべて契約済(平成22年3月)であり、環境負荷低減に資する材料開発のための中性子利用研究設備の整備が着実に進捗している。</p>	研究振興局

対策の柱立て	・施策の名称 (平成21年度第2次補正予算額) ・22年度予算における関連事業 (平成22年度予算額) ・「新成長戦略」における関連事業	事業の内容	・直近(平成22年7月20日時点)の進捗状況(申請件数、交付決定件数、相談件数等) ・行政事業レビューシートの公表場所URL ・予算執行状況(※前回会合の際、3月末日時点で執行未了とした施策のみご記入下さい。)	・4月に各省庁において設定した評価指標の効果発現状況	担当局
2. 環境	低炭素社会構築に向けた研究基盤ネットワークの整備 (平成21年度第2次補正予算額:140億円) <b>【新成長戦略関連事業】</b> 革新的技術開発の前倒し・重点化	最先端のナノテクノロジーに関する研究成果・知見を結集させ、環境技術の実用化を加速する研究基盤ネットワークの整備	(進捗状況) ハブ拠点として3件、サテライト拠点として15件を採択し、2010年6月末までに契約手続きを完了した。 (行政事業レビューシート公表場所URL) 「低炭素社会構築に向けた研究基盤ネットワークの整備」 <a href="http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afieldfile/2010/07/08/1295355_2.pdf">http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afieldfile/2010/07/08/1295355_2.pdf</a> (予算の執行状況) 契約手続きを完了し、各研究機関において事業を実施中(平成22年6月14日契約済)	(評価指標) (装置整備完了前)採択機関における装置の整備の進捗状況 (装置整備完了後)研究の進捗状況および整備した装置の活用状況(利用件数など) (当該指標の設定についての考え方) 「明日の安心と成長のための緊急経済対策」(平成21年12月8日閣議決定)における具体的な対策「地球温暖化対策に資する先端研究設備の整備等を行う(後略)」(P13)に基づき、整備の進捗状況等を指標に設定。 (効果発現状況) 契約直後(6月14日)であり、今後、評価指標に基づきフォローアップを行う。	研究振興局
2. 環境	地球環境観測の推進 (平成21年度第2次補正予算額:51億円) <b>【22年度本予算関連事業】</b> 水循環変動観測衛星(GCOM-W)(予算額 26億円) <b>【新成長戦略関連事業】</b> 工程表 V 科学・技術・情報通信立国戦略 ～知恵と人材のあふれる国・日本～② 5.フロンティアの創出	水循環変動観測衛星(GCOM-W)の衛星バス・搭載センサの開発加速	(進捗状況) GCOM-Wの平成23年度打上げに向けて開発が着実に進捗している。 (行政事業レビューシート公表場所URL) 「地球観測衛星の開発に必要な経費」 <a href="http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afieldfile/2010/07/13/1295361_18.pdf">http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afieldfile/2010/07/13/1295361_18.pdf</a>	(評価指標) 水循環変動観測衛星(GCOM-W)の平成23年度打上げに向けた作業計画に対する進捗状況 (当該指標の設定についての考え方) 本事業は平成22年度予算案に計上した施策の実施とあわせ、地球規模での気候変動の予測精度の向上を図り、地球温暖化対策等に貢献する水循環変動観測衛星(GCOM-W)を遅延なく確実に打ち上げる(平成23年度打上げ予定)ことで、グリーンイノベーションの推進に資するものであるため。 (効果発現状況) 計画の性質上、開発の遅延等による打上げサービス事業への大きな痛手が懸念されるところ、衛星バスや搭載センサの開発・試験等に係る作業の前倒し等により、作業は当初予定通りの平成23年度打上げに向け着実に進捗している。	研究開発局
4. 生活の安心確保	救急医療の最先端機器の整備・病院基盤設備の更新(平成21年度第2次補正予算額:82億円)	救急医療を行うために必要な最先端の医療機器や安全な医療の提供に欠かせない基盤的設備を国立大学附属病院に整備。	(進捗状況) ・各大学において必要な契約に向けた手続きを行っている。 (行政事業レビューシート公表場所URL) 「国立大学法人の教育研究設備の整備」(予算事業名) <a href="http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afieldfile/2010/07/08/1295333_19.pdf">http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afieldfile/2010/07/08/1295333_19.pdf</a>	(評価指標) ・医療設備の整備・更新状況 (当該指標の設定についての考え方) 設備の整備・更新事業であり、大学毎に内容が異なるため、指標として整備・更新状況が適切 (効果発現状況) ・平成21年度第2号補正予算で医療設備整備・更新のために措置された82億円すべて契約手続中・済(平成22年7月)という状況であり、医療設備整備・更新が順調に行われている。	高等教育局

対策の柱立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の名称 (平成21年度第2次補正予算額)</li> <li>・22年度予算における関連事業 (平成22年度予算額)</li> <li>・「新成長戦略」における関連事業</li> </ul>	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直近(平成22年7月20日時点)の進捗状況(申請件数、交付決定件数、相談件数等)</li> <li>・行政事業レビューシートの公表場所URL</li> <li>・予算執行状況(※前回会合の際、3月末日時点で執行未了とした施策のみご記入下さい。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に各省庁において設定した評価指標の効果発現状況</li> </ul>	担当局
4. 生活の安心確保	医師不足解消に向けた医学部定員増に伴う教育環境の整備 (平成21年度第2次補正予算額: 24億円)	医学部定員増を行う大学に対し、解剖実習台、顕微鏡等の学生教育用設備の整備を図る。	(進捗状況) ・各大学において事業実施中(選定件数: 51件)。  (行政事業レビューシート公表場所URL) 「国立大学法人の教育研究設備の整備」(予算事業名) <a href="http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afiedfile/2010/07/08/1295333_19.pdf">http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afiedfile/2010/07/08/1295333_19.pdf</a> 「私立大学等研究設備整備等」(予算事業名) <a href="http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afiedfile/2010/07/08/1295334_9.pdf">http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afiedfile/2010/07/08/1295334_9.pdf</a>	(評価指標) ・医学部定員増にともなう教育環境の整備による医学教育の充実  (当該指標の設定についての考え方) 補正により措置した医学部定員増に伴う教育環境の整備の効果も含めて、22年度予算や政策による医学教育への貢献を把握・評価。  (効果発現状況) ・選定51大学中30大学で解剖実習台、顕微鏡等の学生教育用設備が整備された。その効果について各大学へアンケートを実施予定。	高等教育局
4. 生活の安心確保	周産期医療環境の整備 (平成21年度第2次補正予算額: 6億円)	周産期医療体制の整備のための大学病院のNICU(新生児集中治療室)病床等を整備する。	(進捗状況) ・各大学等において事業実施中(選定件数: 3件)  (行政事業レビューシート公表場所URL) 「周産期医療環境整備事業」(予算事業名) <a href="http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afiedfile/2010/07/08/1295333_12.pdf">http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afiedfile/2010/07/08/1295333_12.pdf</a>	(評価指標) ・大学病院におけるNICU(新生児集中治療室)等整備数、NICUの患者数  (当該指標の設定についての考え方) ・NICUの整備数に加えて、実際にそれを利用した患者数を指標とすることによって、その政策の効果を測ることが可能。  (効果発現状況) ・選定3大学中1大学でGCU(継続保育室)3病床が整備された。	高等教育局
4. 生活の安心確保	iPS細胞を用いた難病研究を促進する為の研究基盤整備 (平成21年度第2次補正予算額: 7億円)  <b>【22年度本予算関連事業】</b> 再生医療の実現化プロジェクト (予算額24億円)  <b>【新成長戦略関連事業】</b> 再生医療の実現化ハイウェイ構想	iPS細胞リソースの収集・保存・提供を行う共通インフラ(iPS細胞バンク)を構築するための設備の整備	(進捗状況) ・理化学研究所においてiPS細胞バンクを整備中  (行政事業レビューシート公表場所URL) 「再生医療の実現化プロジェクト」 <a href="http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afiedfile/2010/07/16/1295354_11.pdf">http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afiedfile/2010/07/16/1295354_11.pdf</a>	(評価指標) ・難病研究等に活用できるiPS細胞のリソース提供数  (当該指標の設定についての考え方) iPS細胞バンクの構築により、我が国のiPS細胞研究の裾野の拡大が図られるとともに、患者由来のiPS細胞を用いた研究を進めることで病気になる仕組みの解明が進むなど、難病克服に向けた研究が一層進展することとなるため、「難病研究等に活用できるiPS細胞のリソース提供数」を指標に設定する。  (効果発現状況) ・平成22年2月末218本→平成22年7月15日322本	研究振興局

<p>対策の柱立て</p>	<p>・施策の名称 (平成21年度第2次補正予算額) ・22年度予算における関連事業 (平成22年度予算額) ・「新成長戦略」における関連事業</p>	<p>事業の内容</p>	<p>・直近(平成22年7月20日時点)の進捗状況(申請件数、交付決定件数、相談件数等) ・行政事業レビューシートの公表場所URL ・予算執行状況(※前回合会の際、3月末日時点で執行未了とした施策のみご記入下さい。)</p>	<p>・4月に各省庁において設定した評価指標の効果発現状況</p>	<p>担当局</p>
<p>6. 「国民潜在力」の発揮</p>	<p>幼保一体化を含めた保育分野の制度・規制改革 (一) 【22年度本予算関連事業】なし 【新成長戦略関連事業】 VI 雇用・人材戦略～子どもの笑顔あふれる国・日本～ 1. 待機児童の解消(就学前)～育児サービスを質量ともに増強～ (1)幼保一体化 (2)多様な事業主体の参入促進～イコールフットィング等～ (3)育児サービスへの集中投資による環境整備 2. 働くことを希望するすべての人が仕事を継続・復帰～サービスメニューの多様化等～</p>	<p>幼保一体化を含めた、新たな次世代育成支援のための包括的・一元的な制度の構築を進める。 このため、主担当となる閣僚を定め、関係閣僚の参加も得て、新たな制度について平成22年前半を目途に基本的な方向を固め、平成23年通常国会までに所要の法案を提出する。 (ア)利用者本位の保育制度に向けた抜本的な改革 ・利用者事業者間の公的契約制度の導入、保育に欠ける要件の見直し、利用者補助方式への転換の方向など、利用者本位の制度を実現する。また、保育料設定の在り方について、水準の在り方も含め、制度設計の中で検討する。 (イ)イコールフットィングによる株式会社・NPOの参入促進 ・株式会社、NPO・社会的企業も含めた更なる参入促進を図るべく、客観的基準による指定制度の導入を検討する。 ・また、施設整備補助の在り方、運営費の使途範囲・会計基準等の見直しについても、制度設計の中で検討する。 (ウ)幼保一体化の推進 ・上記制度における新たな給付体系の検討等とあわせて、認定こども園制度の在り方など幼児教育、保育の総合的な提供(幼保一体化)の在り方についても検討し、結論を得る。</p>	<p>(直近の進捗状況) ＜社会保障審議会少子化対策特別部会で検討中＞ 現在、社会保障審議会少子化対策特別部会にて、新たな次世代育成支援のための包括的・一元的な制度の構築に向け、御議論いただいている。平成21年2月24日に第1次報告がなされ、平成21年12月25日には議論の整理がされたところ  ＜「子ども・子育て新システム検討会議」＞ 幼保一体化を含む新たな次世代育成支援のための包括的・一元的なシステムの構築について検討を行うために開催(平成22年1月29日少子化社会対策会議決定)。 平成22年6月25日に「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」をとりまとめ、同月29日に少子化社会対策会議において決定された。  ＜「子ども・子育てビジョン」の策定＞ 政府全体の少子化対策として「子ども・子育てビジョン」を策定(平成22年1月29日閣議決定)</p>	<p>(評価指標) — (当該指標の設定についての考え方) — (効果発現状況) —</p>	<p>行革室まとめ(生、初)</p>